



おきぎん経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2012年6月27日

各位

株式会社 おきぎん経済研究所

「第48回おきぎん企業動向調査」
(2012年4~6月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：上地

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2012年7～9月期見通し)
 ～第48回おきぎん企業動向調査(2012年4～6月期)調査結果より～

I. はじめに

1. 調査の結果

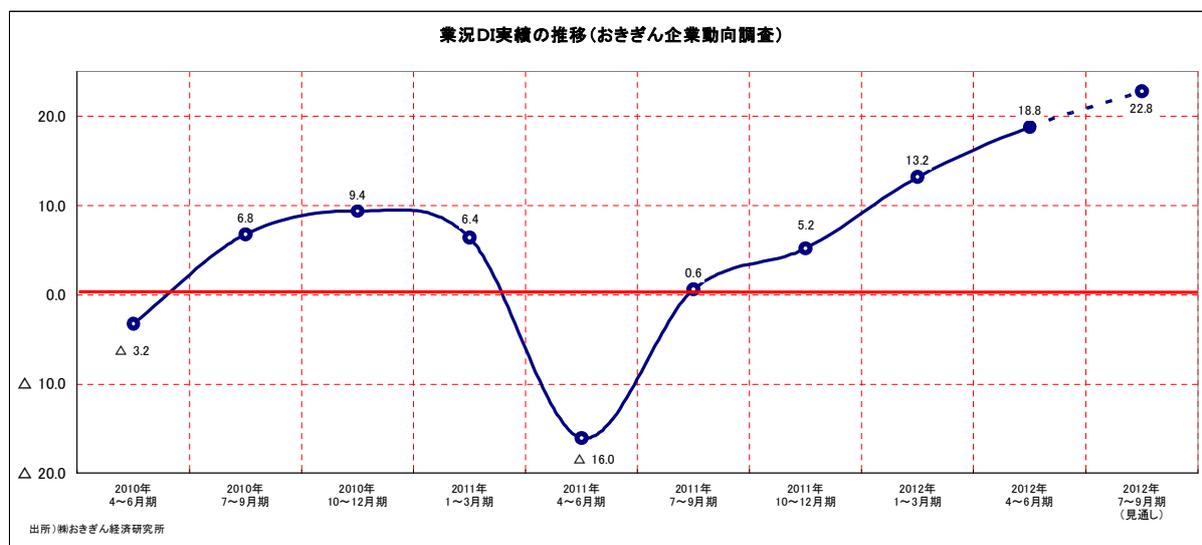
業況DIの推移

期間・結果	2011年			2012年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期(見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種計	△ 16.0	0.6	5.2	13.2	18.8	22.8
製造業	△ 32.1	△ 37.3	△ 2.0	4.1	2.0	26.0
土木業	△ 10.0	△ 5.6	0.0	17.4	6.1	36.4
建築業	△ 9.1	14.5	14.7	5.8	11.8	9.2
卸売業	△ 27.0	△ 6.1	△ 2.2	7.1	20.0	20.0
小売業	△ 13.7	10.7	7.9	27.9	26.8	33.8
情報通信サービス業	22.2	8.3	37.5	50.0	27.3	18.2
医療・福祉	22.2	25.0	29.6	33.3	17.6	14.7
その他サービス業(宿泊・飲食等)	△ 48.6	0.0	5.9	△ 5.6	43.2	35.1
その他(不動産、運輸等)	△ 3.8	4.6	△ 3.9	15.6	20.8	19.5

2012年4～6月期調査の業況DIは18.8(前年同期比)となりました。

業種別でみると、【製造業】、【土木業】、【建築業】、【卸売業】、【小売業】、【情報通信サービス業】、【医療・福祉】、【その他サービス業】、【その他】の全ての業種で「業況改善の動き」がみられます。

2012年7～9月期の業況見通しDIについては22.8となり、全業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



2. 調査の概要: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2012年5月下旬～6月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 474社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)
⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

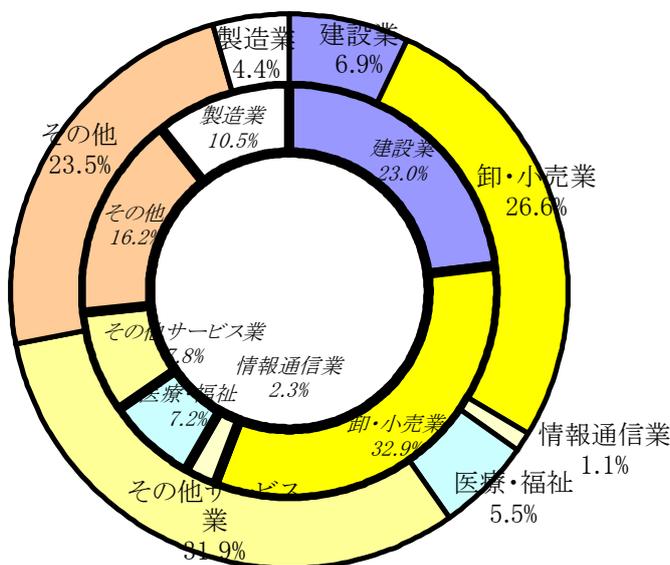
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

3. 調査対象企業の業種・所在地構成

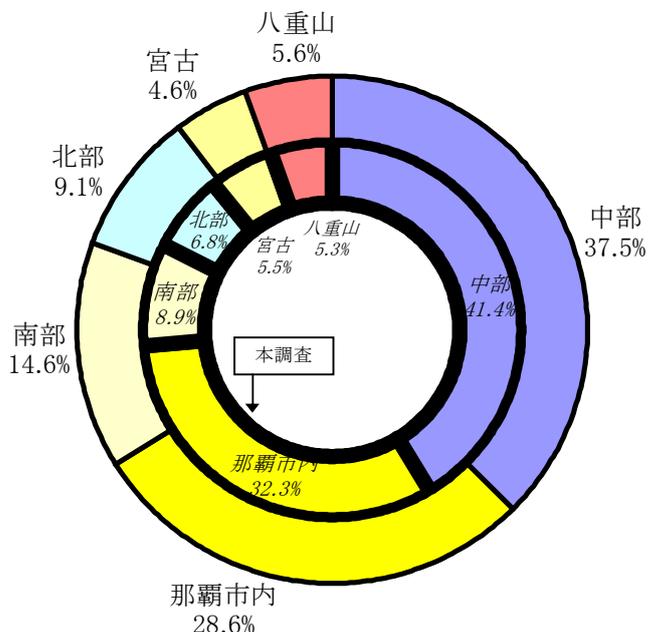
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2009年経済センサス基礎調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料) 総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、
本調査の事業所所在地構成(内円)



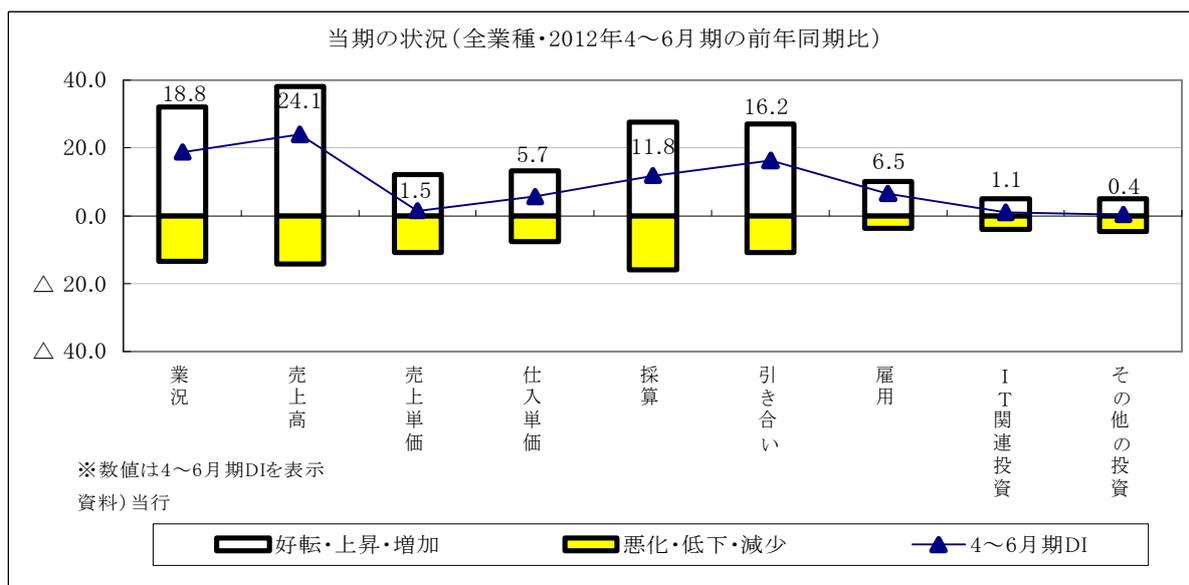
資料) 総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎんDI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

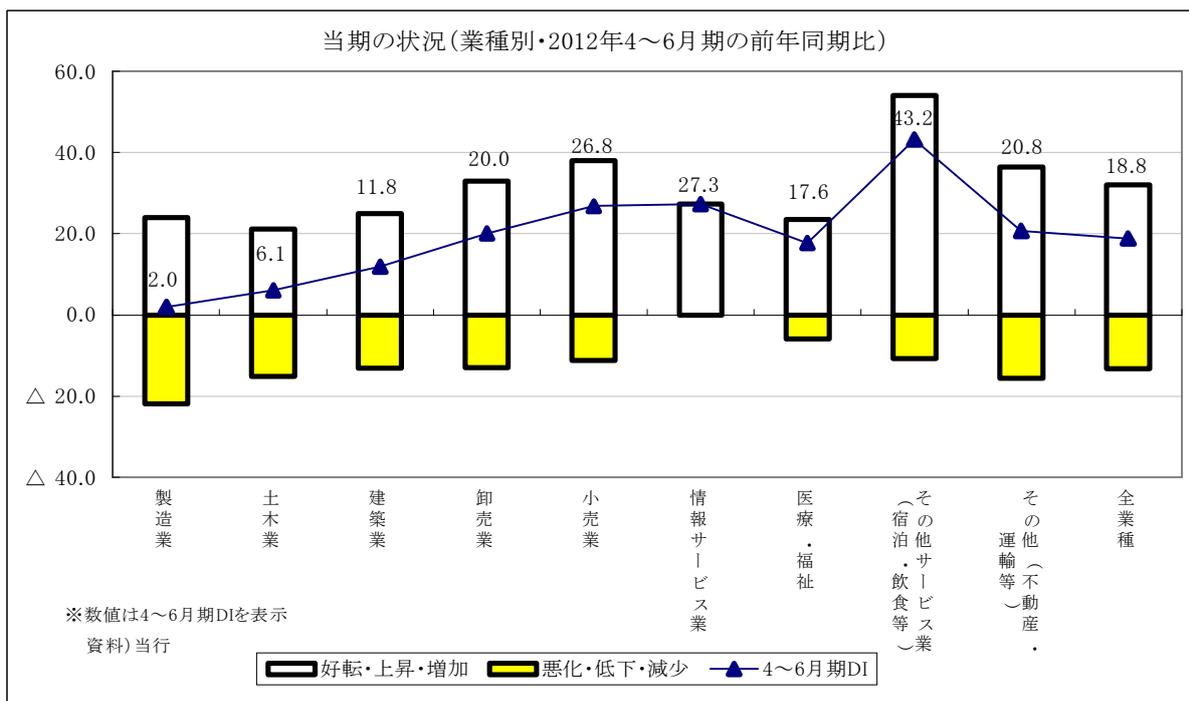
a. ①当期の状況(項目別・2012年4～6月期の前年同期比)

当期の業況DIを項目別で見ると、震災の影響を受けた前年同期と比較すると雇用(6.5)などを含め各分野で改善しています。しかし、引続き競争環境は厳しく売上単価(1.5)は僅かな改善となっています。全体として**業況(18.8)改善の動き**がみられます。



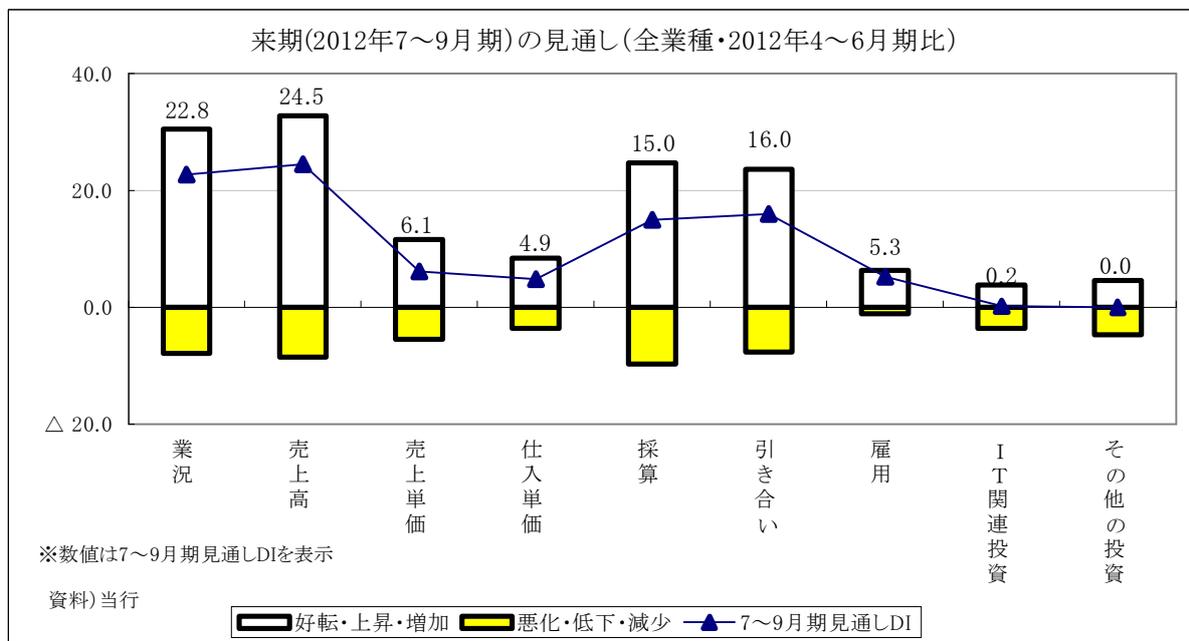
a. ②当期の状況(業種別・2012年4～6月期の前年同期比)

当期の状況を業種別で見ると、震災等の影響により観光客が大幅に減少した前年の反動から、宿泊業を含む【**その他サービス業**】(43.2)が大幅に改善しています。他の全ての業種においても、**業況改善の動き**となりました。



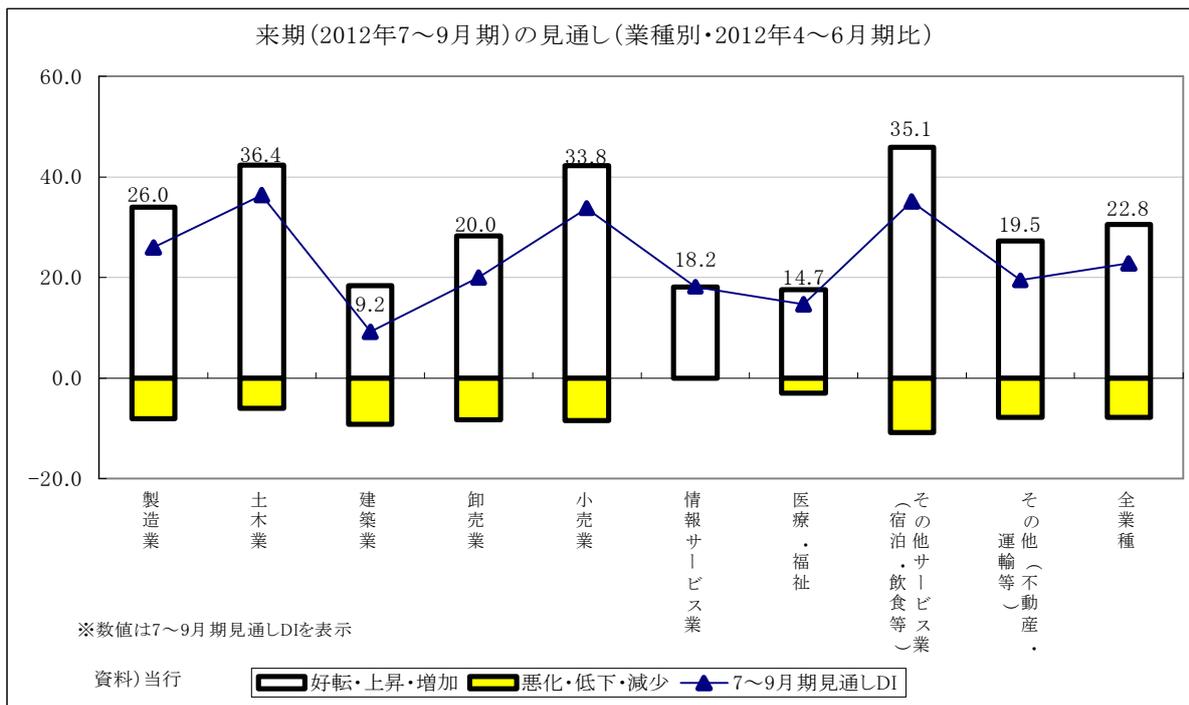
b.①来期の見通し(項目別・2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

来期(2012年7～9月期)の見通しDIを項目別でみると、観光シーズンの到来、公共工事の発注増加、旧盆等夏場の消費活発化など、引き合い(16.0)の強さを見込みます。全ての項目において上向きとなり、全体(業況:22.8)として**業況改善の動き**が見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

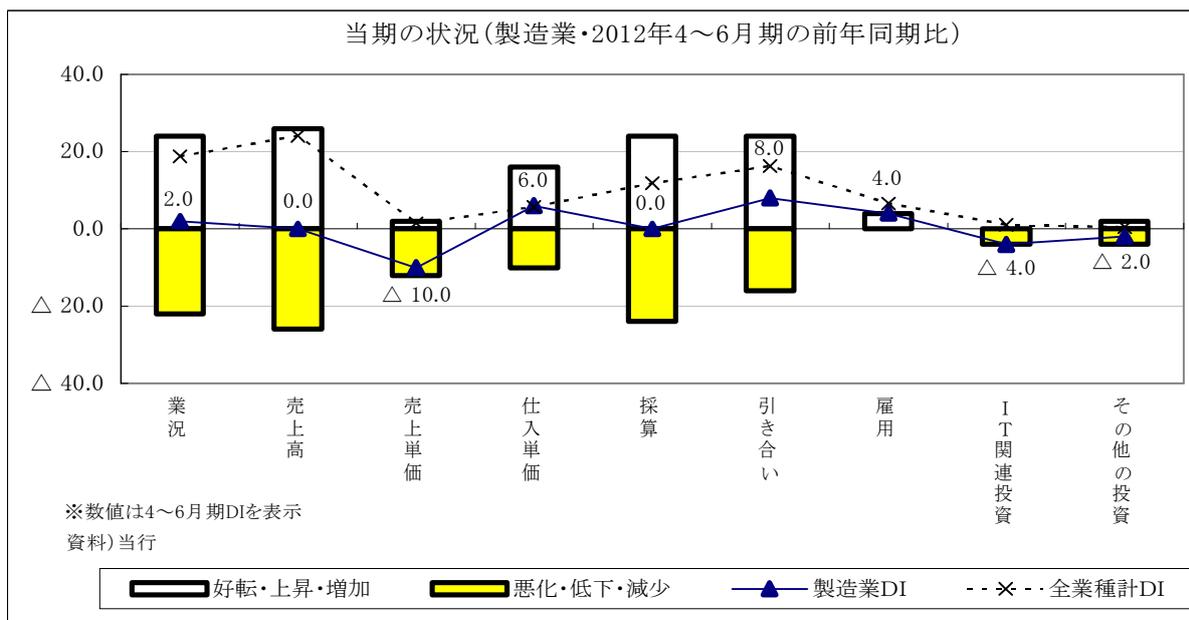
来期(2012年7～9月期)の見通しDIを業種別でみると、【製造業】(26.0)、【土木業】(36.4)、【小売業】(33.8)、【その他サービス業】(35.1)が全体DIを上回る業況の強さを見込み、全業種において**業況改善の動き**が見込まれます。



2. 製造業

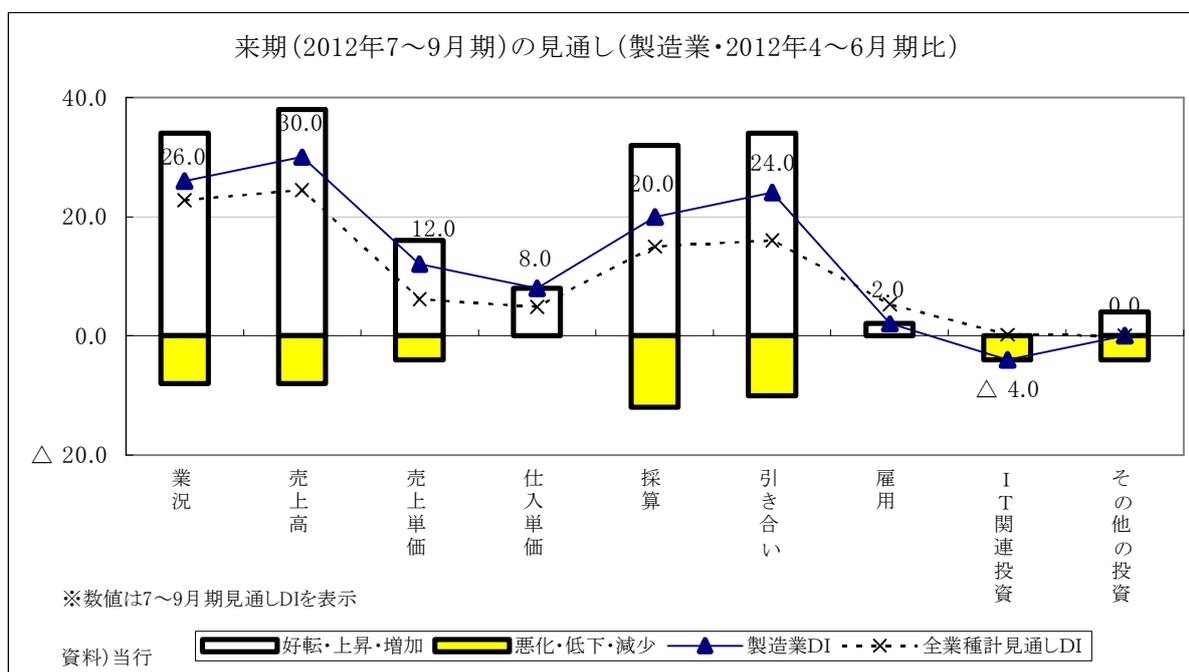
a. 当期の状況 (2012年4～6月期の前年同期比)

【製造業】DI をみると、競争環境の厳しさなどから、売上単価(△10.0)は悪化傾向にあるものの、前年の震災による影響から食品製造業などで改善が見られます。また、泡盛製造業は紙パック容器の導入などが経費削減に寄与しているようです。各項目において全業種のDIを下回っているものの、製造業全体として業況改善の動きがみられます。



b. 来期の見通し (2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

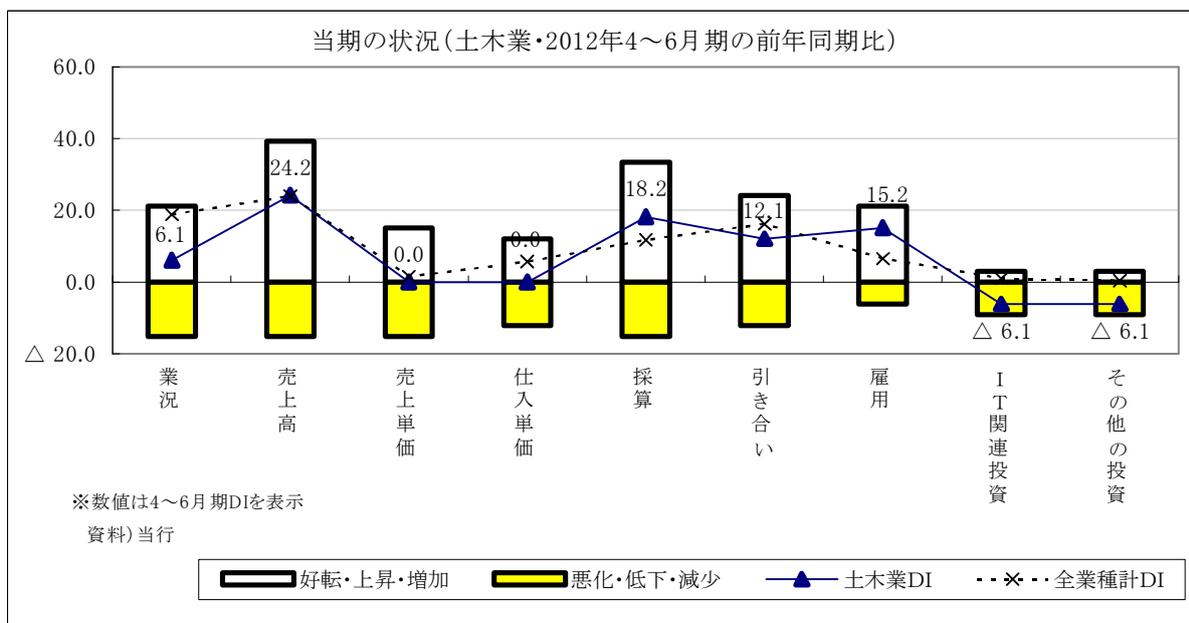
来期の見通し製造業 DI をみると、食品製造業や泡盛製造業などは、夏場の観光需要の高まりを見込みます。建設関連においても徐々に引き合いが増加することが期待されます。新規開拓などの営業強化や更なる経費削減が今後の課題としています。製造業全体として業況改善の動きがみられます。



3. 土木業

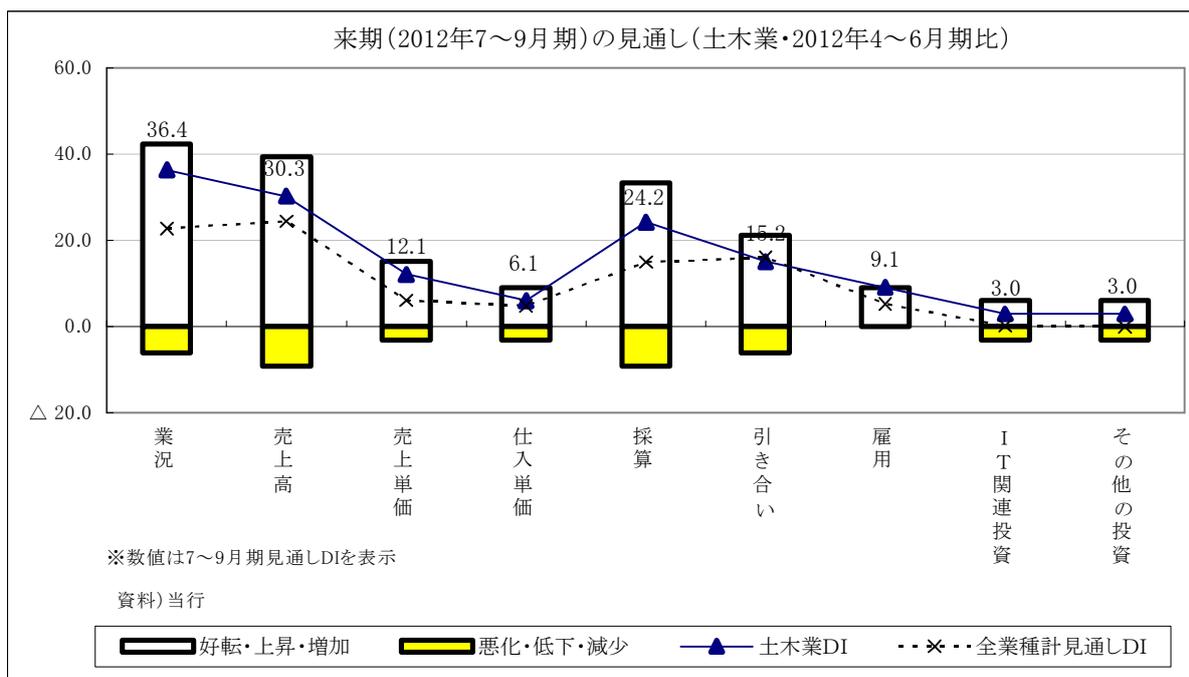
a. 当期の状況 (2012年4～6月期の前年同期比)

【土木業】DIをみると、公共工事は年々減少傾向にあり、厳しい競争環境の中、進捗管理の徹底などのコスト削減努力により、採算性は改善しています。前年と比較して受注状況が好調な事業者も一部に見られ、土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

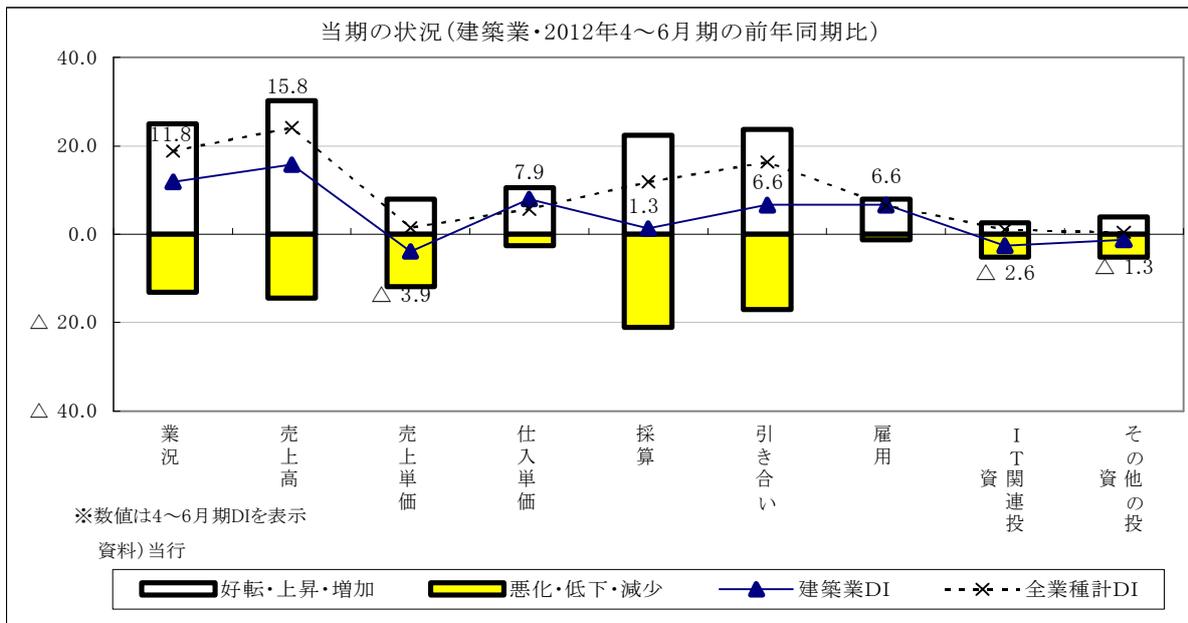
来期の見通し【土木業】DIをみると、厳しい受注環境は続くものの、夏場には公共工事の発注が増加するものと見込みます。また、一括交付金による工事発注増加を期待する声もあります。土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



4. 建築業

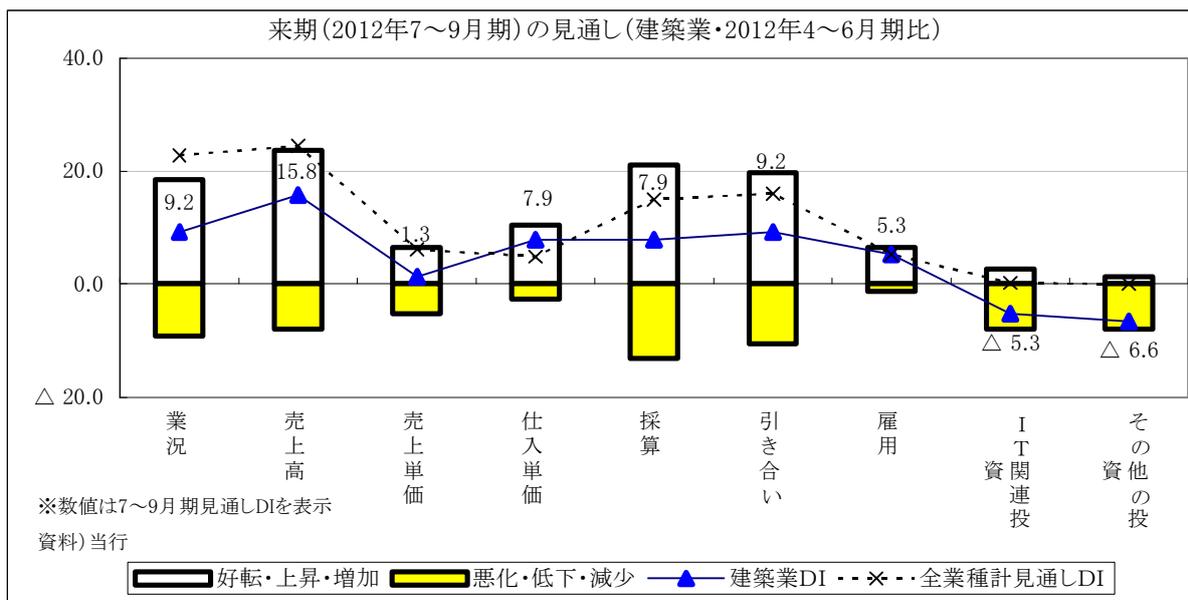
a. 当期の状況 (2012年4～6月期の前年同期比)

【建築業】DI をみると、公共工事は減少傾向が続きますが、戸建て住宅やアパート、テナント設備等の民間需要があり、引き合いは増加しています。また、太陽光設備設置工事などの需要もあり、建築業全体として業況改善の動きがみられます。



b. 来期の見通し (2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

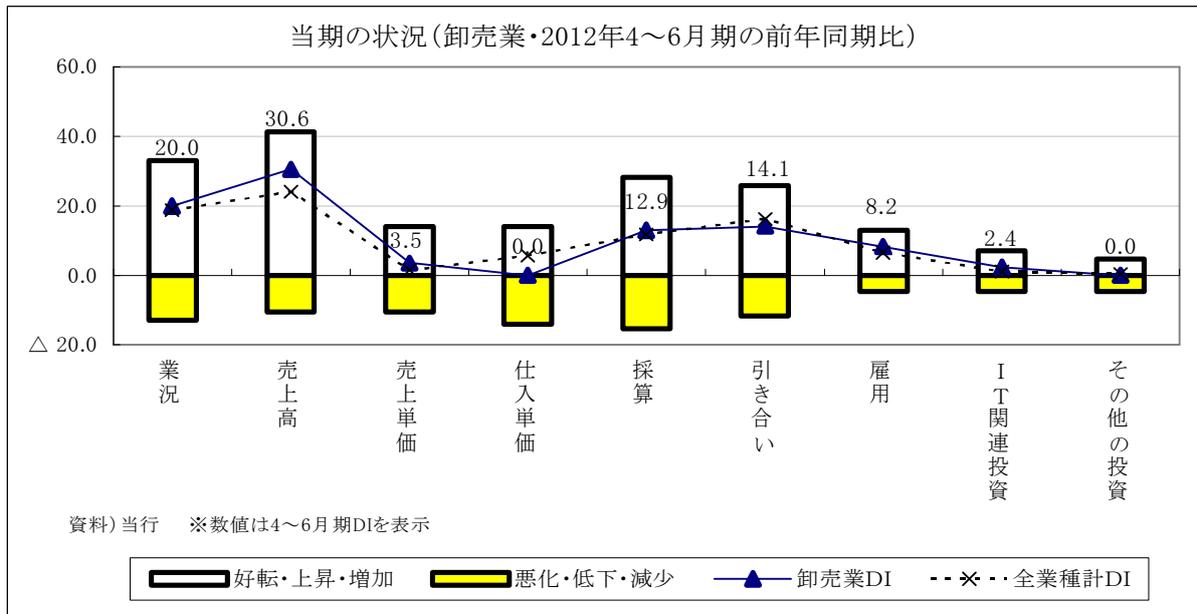
来期の見通し【建築業】DI をみると、土木業同様に公共工事の受注環境は厳しいものの、4～6月期と比較すると受注機会が増加するものと見込みます。民間工事においては、引続き住宅・アパートや太陽光設備設置工事などの需要を見込み、建築業全体として業況改善の動きがみられます。



5. 卸売業

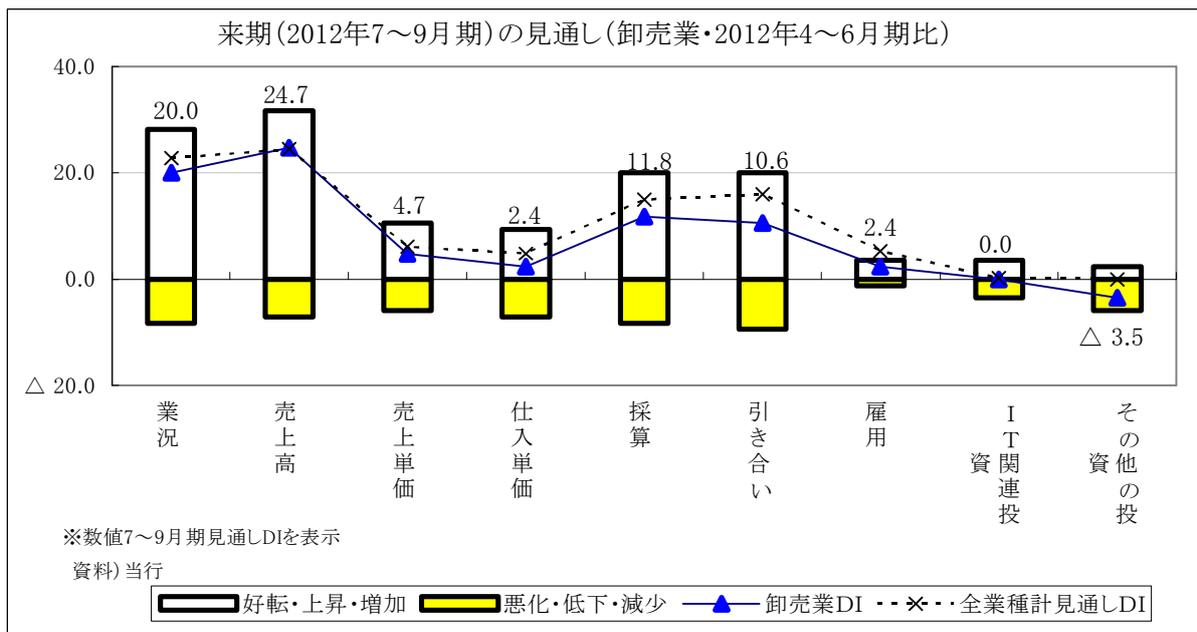
a. 当期の状況 (2012年4～6月期の前年同期比)

【卸売業】DI をみると、円高に伴う仕入コストの削減や、震災の影響があった前年から仕入環境の改善などが見られます。また、建築業同様に民間工事の需要から、建設資材関連も引き合いが増加しています。卸売業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

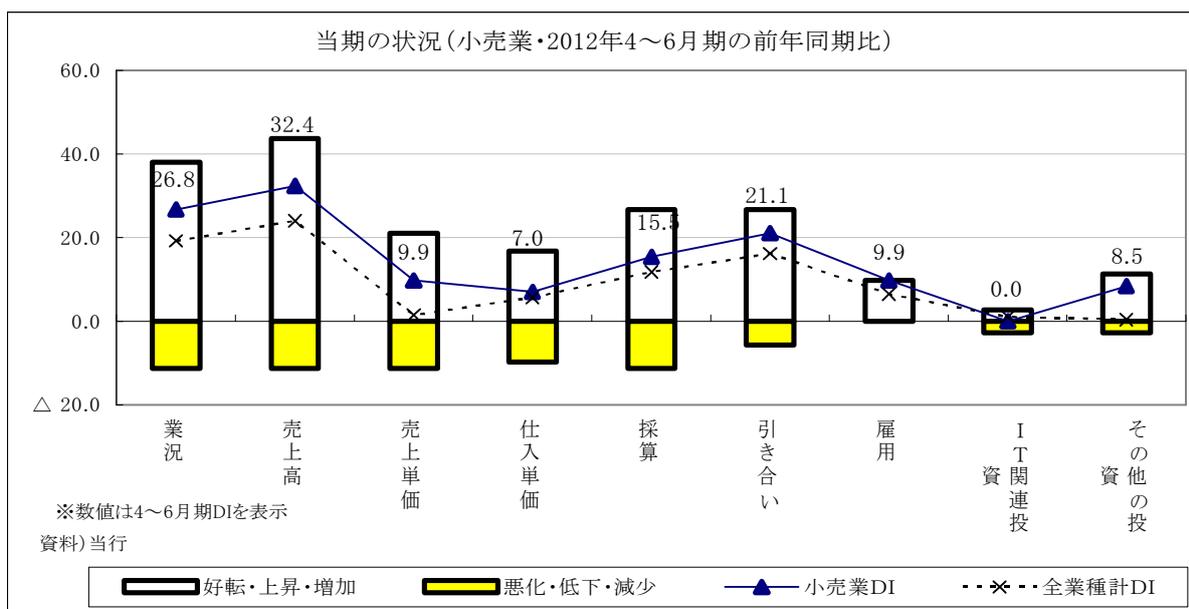
来期の見通し【卸売業】DI をみると、夏場は旧盆などもあり食品関連の需要が見込まれます。また土木業・建築業同様に公共工事の発注増加も期待されます。全業種 DI と比較すると採算等は下回っており厳しい環境は続くものの、卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



6. 小売業

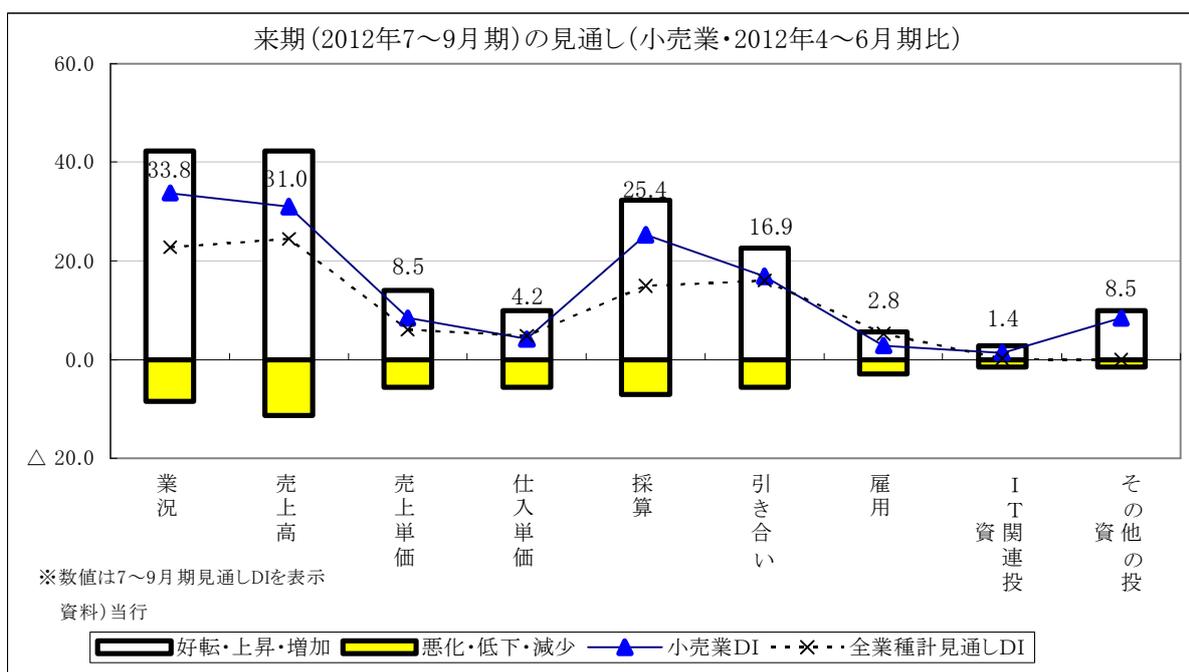
a. 当期の状況 (2012年4～6月期の前年同期比)

【小売業】DIをみると、出店効果や観光需要の回復、震災影響に伴う仕入環境が悪化した前年の反動及び政策効果などから、スーパー・コンビニ・自動車販売業などで好転しています。また、原油価格の高騰からガソリン販売業も売上高が増加しています。一方、前年の地デジ需要の反動等から家電販売は需要減少となっています。小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

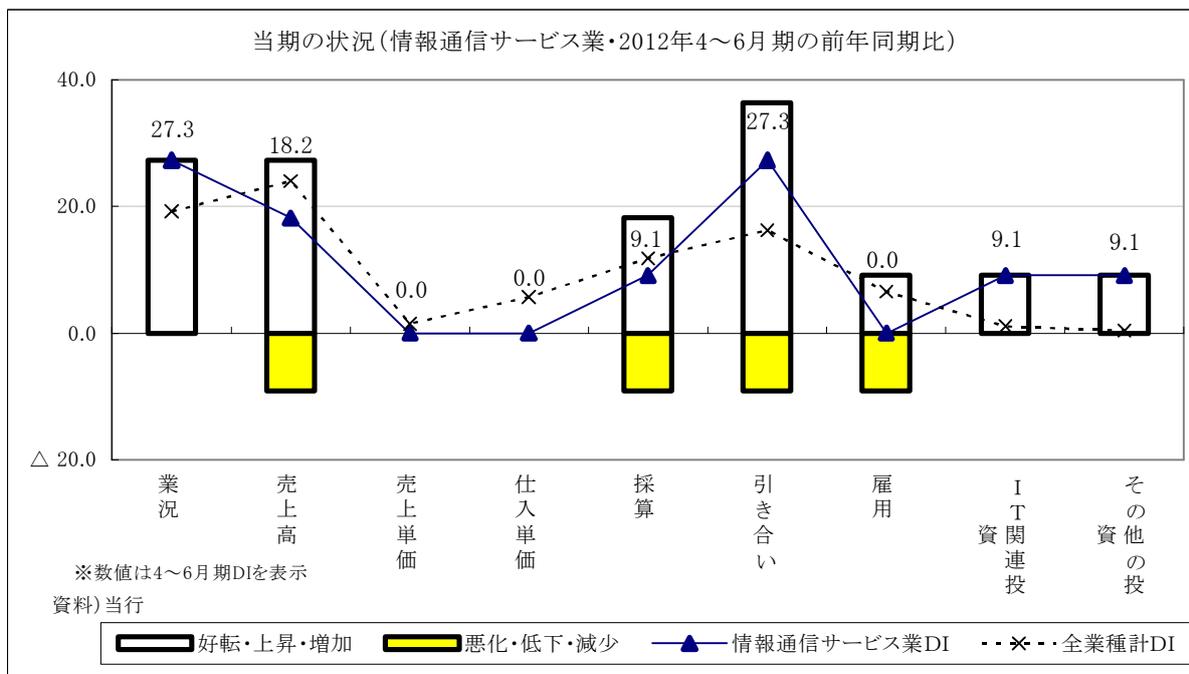
来期の見通し【小売業】DIをみると、大型商業施設のオープン等の新規出店効果や夏場の観光客数の増加などから引続きスーパーやコンビニ等の食品・衣料品小売業は需要の増加が見込まれます。自動車販売業については、エコカー補助金終了が予想されるものの来期の売上は確保できる見通しであり、小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



7. 情報通信サービス業

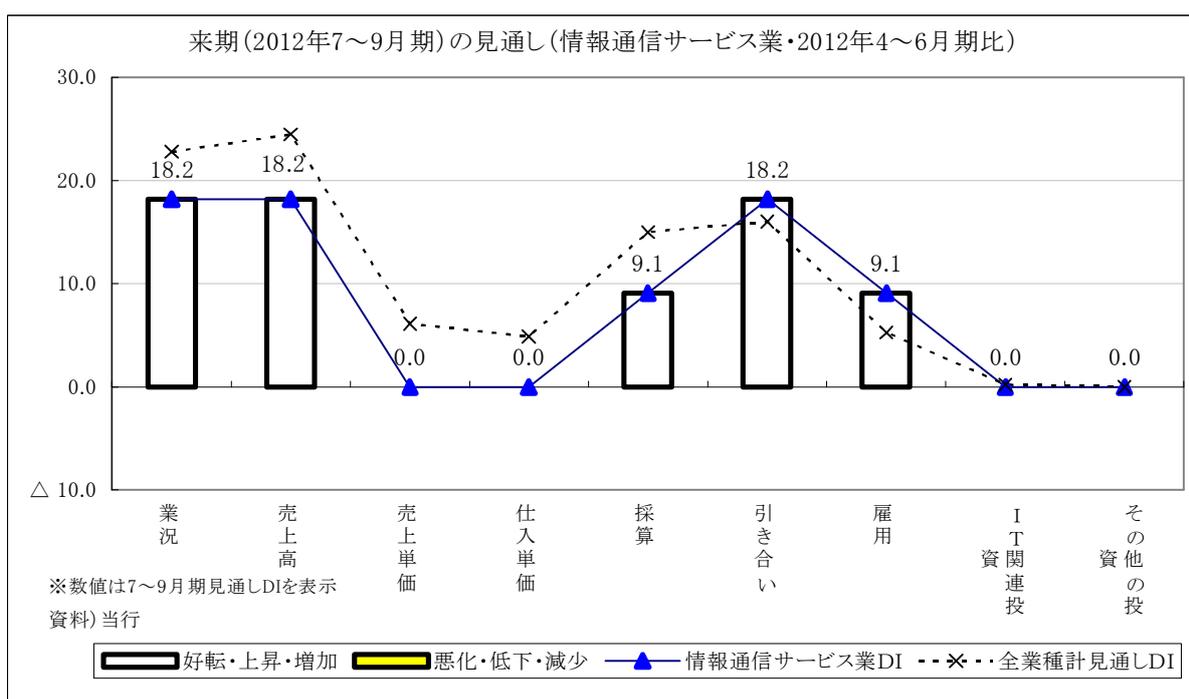
a. 当期の状況 (2012年4～6月期の前年同期比)

【情報通信サービス業】DIをみると、地公体や医療福祉関連などからの安定した受注が見られます。全業種 DI と比較すると、引き合い(27.3)は強く、情報サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

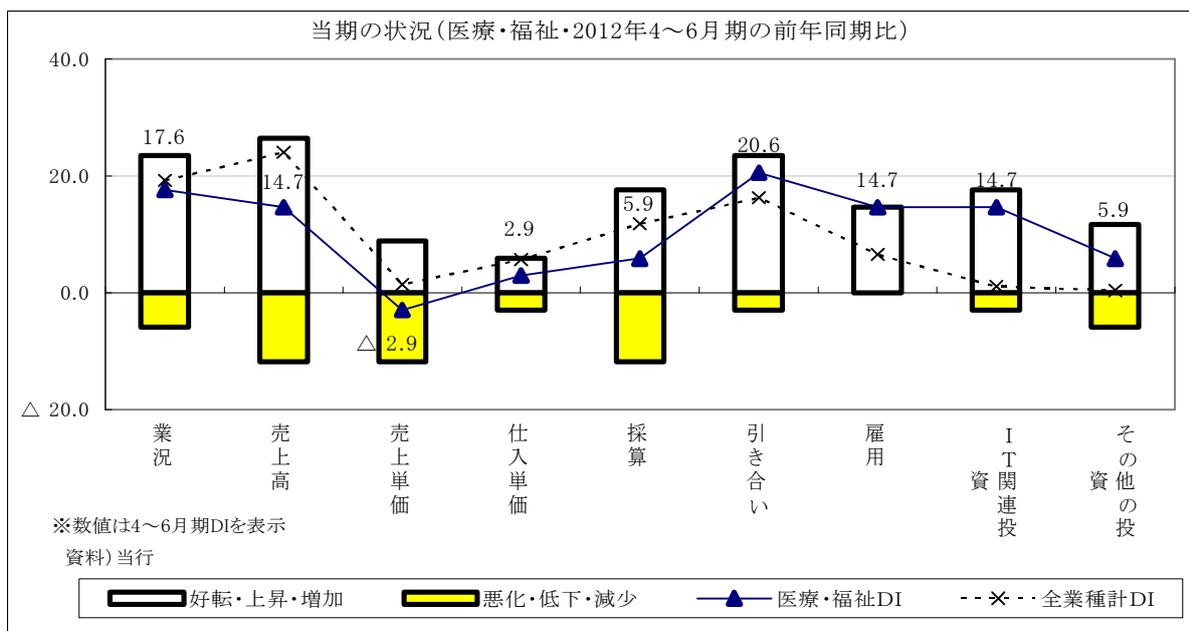
来期の見通し【情報通信サービス業】DIをみると、引続き安定した受注環境を見込みます。また、一括交付金に伴う予算増加など地公体からの更なる受注増加を期待します。情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



8. 医療・福祉

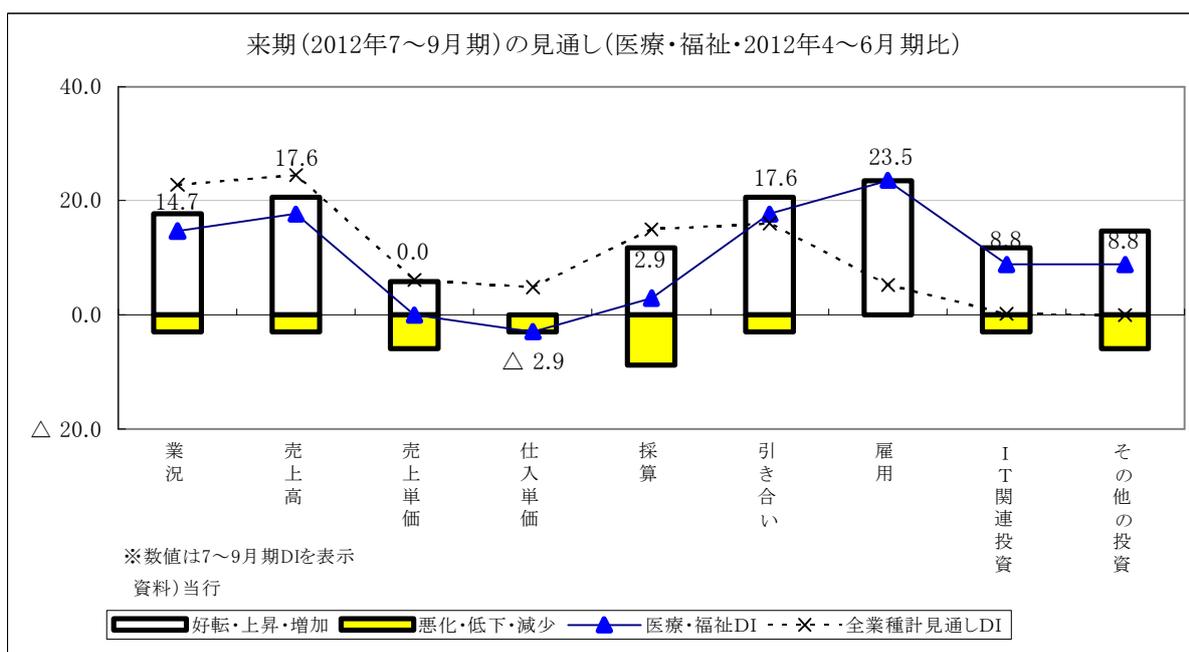
a. 当期の状況 (2012年4～6月期の前年同期比)

【医療・福祉】DIをみると、当期は診療報酬及び介護報酬のダブル改定の時期であり、一部に影響は見られたものの、大きな混乱は無く安定した需要に支えられています。また介護関連の事業拡大に伴う設備投資が活発に行われ、雇用も全業種DIを大幅に上回ります。医療・福祉全体としては業況の堅調さがみられます。



b. 来期の見通し (2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

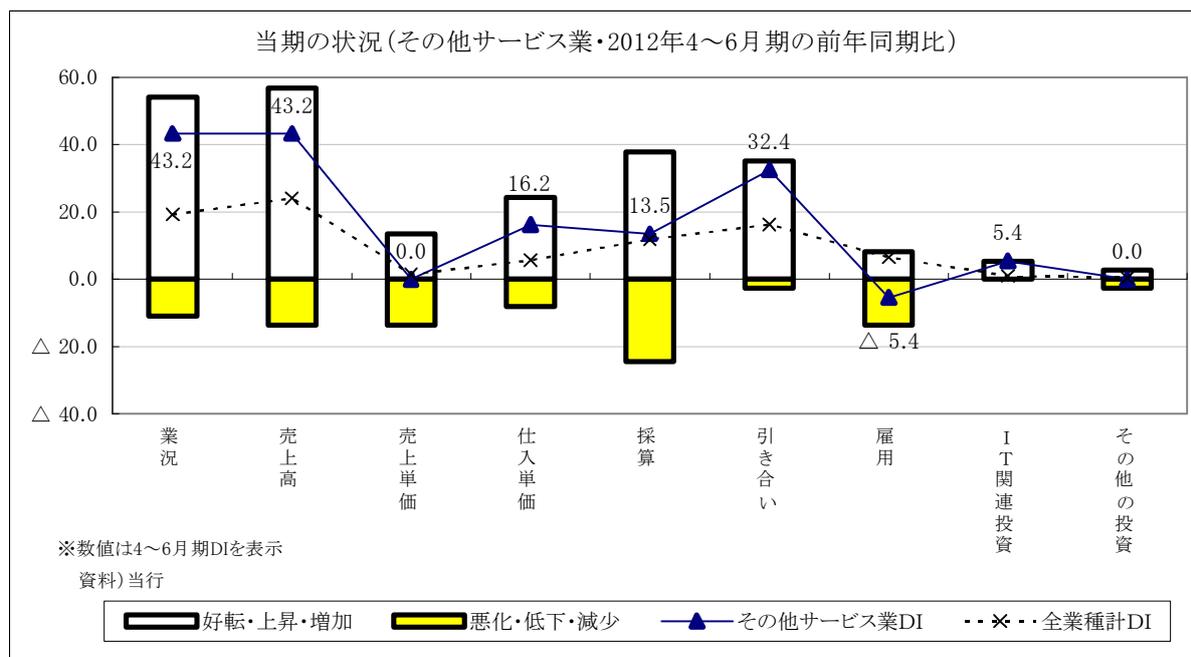
来期の見通し【医療・福祉】DIをみると、医療施設の需要は安定見込みであり、介護関連ではサービス付高齢者向け住宅(旧高齢者専用賃貸施設等)の需要は高く、引続き設備投資や雇用増が見込まれています。医療・福祉全体として引続き業況の堅調さがみられます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

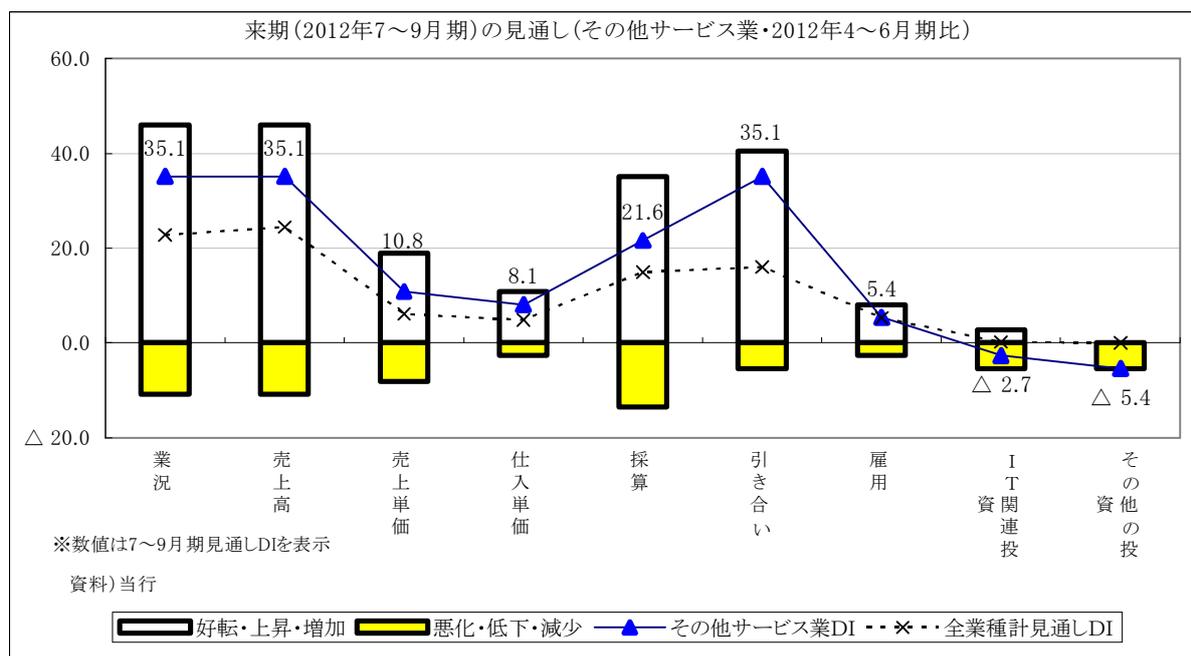
a. 当期の状況(2012年4~6月期の前年同期比)

【その他サービス業】DIをみると、震災の影響から大きく業況(前回業況 DI Δ 48.6)が落ち込んだ前年からの反動増となりました。宿泊、飲食業などを中心に改善が見られるものの、売上単価の上昇には至らない状況です。また、民泊需要の高まりも見られます。その他サービス業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し(2012年7~9月期の2012年4~6月期比)

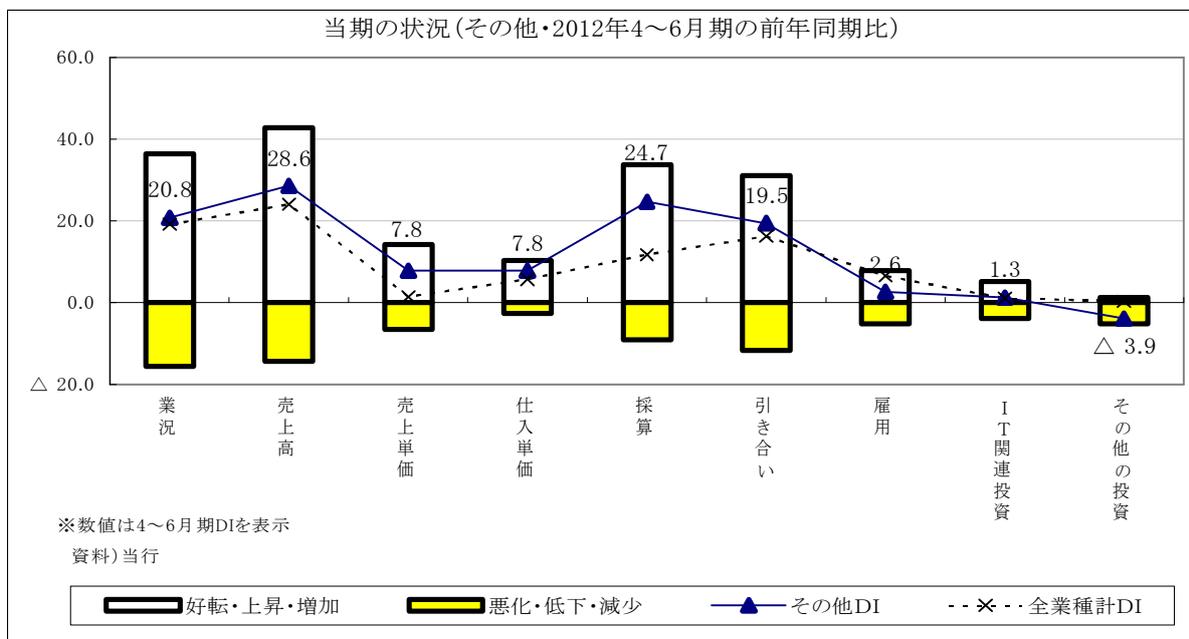
来期の見通し【その他サービス業】DIをみると、観光業界のトップシーズンに入り、前年の反動も含め、観光客数の増加を期待します。一方で、台風などの天候不良の影響が懸念されます。多くの項目で全業種DIを上回り、その他サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

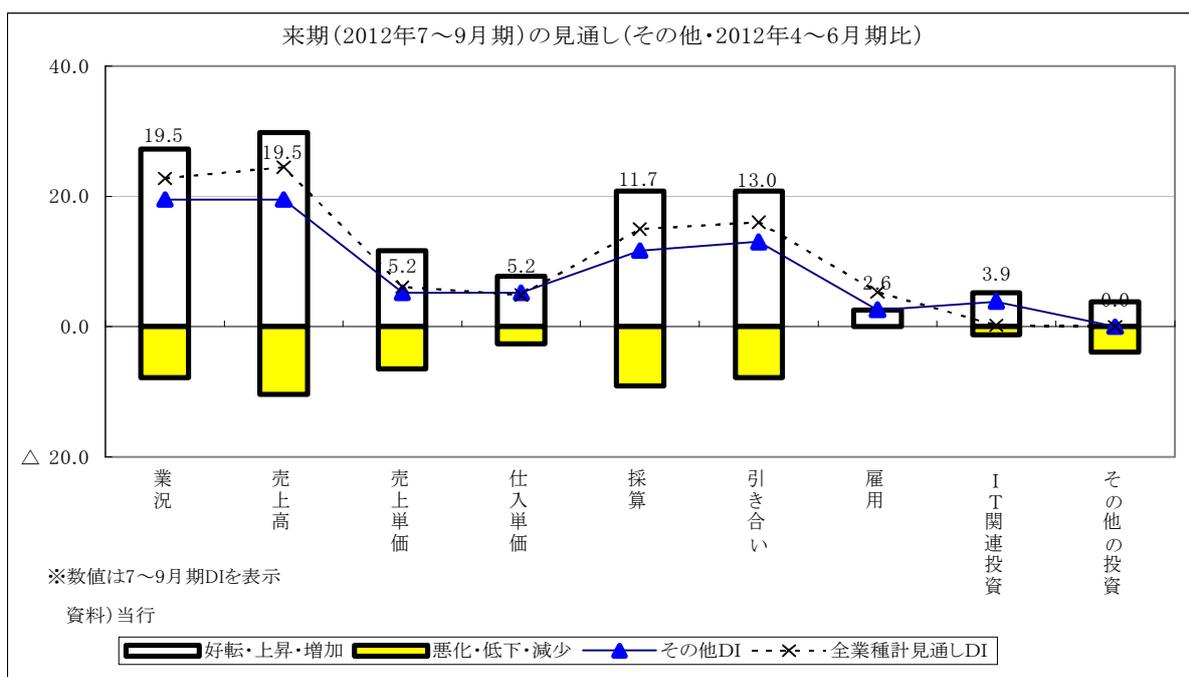
a.当期の状況(2012年4~6月期の前年同期比)

【その他】DIをみると、公共工事の減少に伴い設計コンサル等の受注環境が厳しいことが伺えます。しかし、震災の影響からの回復や離島振興策等から、運輸業(一般貨物・旅客)、不動産業等の需要が増加しています。その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b.来期の見通し(2012年7~9月期の2012年4~6月期比)

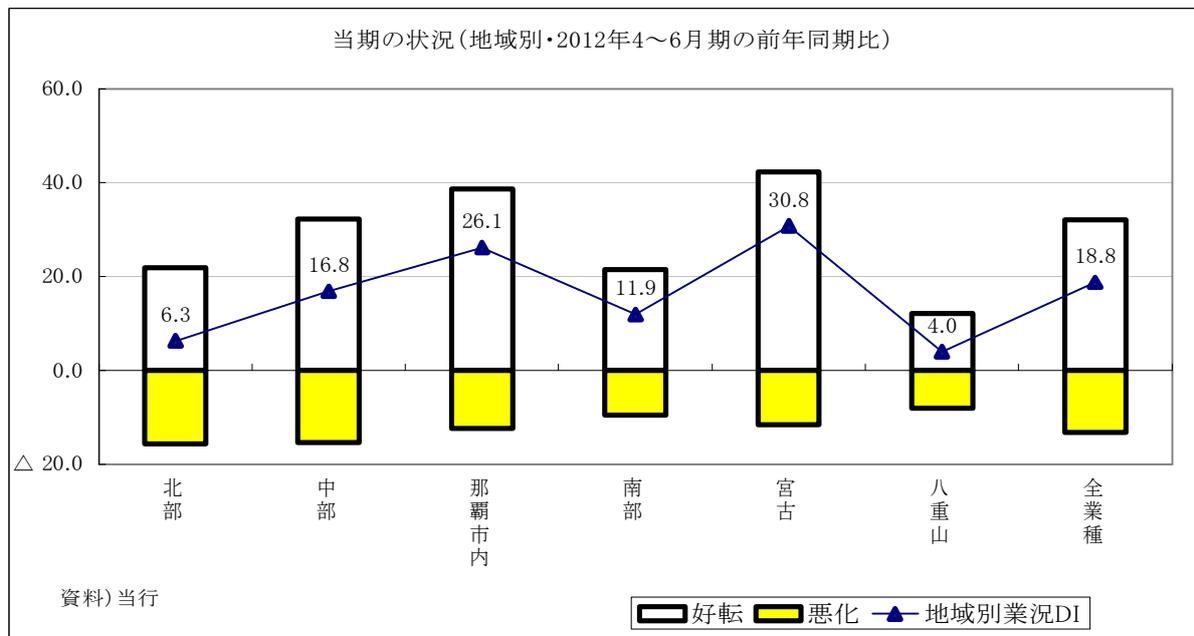
来期の見通し【その他】DIをみると、運輸業においては、燃料費の動向(原油価格の高騰等)への懸念材料があるものの、観光シーズンに入り観光客増加要因を中心に各業界で需要の増加を見込みます。その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

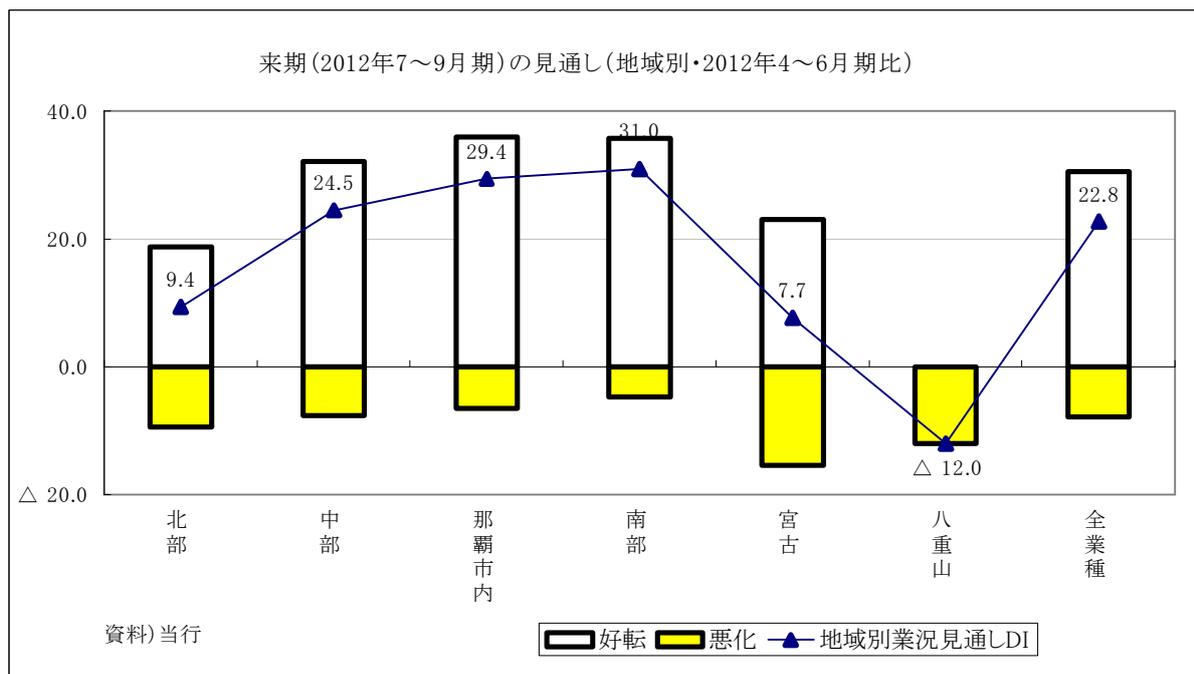
1. 当期の状況(2012年4～6月期の前年同期比)

地域別業況DIをみると、前年の震災関連の影響で落ち込んだ反動増を主な要因として、全地域で業況改善の動きとなりました。中でも宮古地区は観光客数の増加や民間建築(アパート等)需要などにより、業況が大きく改善しています。



2. 来期の見通し(2012年7～9月期の2012年4～6月期比)

来期の業況見通しDIをみると、八重山地区(△12.0)では公共工事や観光客数の減少傾向が続くとの見通しから業況の弱さが見込まれます。その他の地域では、観光客の増加などを中心に幅広い業種で業況改善の動きが期待されます。



IV.まとめ

【当期業況DI】

- ① 当期（2012年4～6月期）の業況DI調査の結果は前年同期比で18.8ポイントと業況改善の動きとなりました。東日本大震災や原発問題等の影響から大きく落ち込んだ前年（△16.0）の反動等により、幅広い業種で業況が改善しています。
- ② 観光関連産業は、観光客数の増加により宿泊業、観光土産品、外食、運輸業などで需要が増加しました。
- ③ 建設関連では、公共工事の減少などから競争環境は厳しさが続くものの、アパートや戸建住宅、テナント、太陽光関連設備設置工事等の民間工事の需要があります。
- ④ また、政策効果や在庫不足が続いた前年の反動などから自動車販売業は大きく改善し、スーパー・コンビニなどの小売業も堅調に推移しています。

【来期の見通しDI】

- ① 来期（2012年7～9月期）の見通しDIについては、22.8ポイントとなりました。当期（2012年4～6月期）より改善されることが期待されます。
- ② 夏場に入り、観光客数の増加による観光需要の高まりから、土産品・食品などの製造業、卸・小売業、宿泊・飲食業、旅客運輸業などで需要の増加が見込まれます。
- ③ また、建設関連を中心に幅広い業種において、一括交付金を活用した公共事業の増加に伴う受注機会の増加に期待が集まります。

